

あこう(のたより) 飛



発行責任者 原田 尚之

『GOTOグローバル3』（総合的な学習「バラモンプラン」） ～8つの政党を結党～

校長 原田 尚之

昨年の7月号・11月号で紹介いたしましたGOTOグローバルに向け、現在、普通科2年生が「総合的な学習の時間（バラモンプラン）」で取り組んでいることについて紹介いたします。
（昨年の7月号・11月号は五島高校HPにも掲載しています）

- クラスの垣根を取り払い「8つの政党」を立ち上げます。
党首・幹事長・政調会長等を選出
- 各党は五島市に関する政権公約（マニフェスト）を作成します。
6つのテーマ（人口問題 ・雇用問題 ・少子高齢化問題 ・産業上の4つは共通で、あとの2つは各党の自由）を設定します。
- 3学期に1, 2年生の前で各党が発表し、数日後に投票を行います。
- 上位の政党は、五島市の関係者の方々前で発表し、意見交換する予定です。

常識にとらわれない高校生の発想に期待しているところです。

また、本校には五島出身でない生徒も在学していますが、今住んでいる地域のことを思う気持ちは大切であり、この体験を活かし、将来本当の故郷のために貢献する人材に成長することを期待しています。

進路指導の最終的な目標は「自分の特性を生かし、いかに社会的貢献をするか」を考える事だと思います。社会を知るには、まず身近な地元からです。高校時代は身近な地元の課題に対して「自分の特性を生かし、いかに地元の活性化に貢献するか」を考えてほしいと思います。身近な事から取り組むことによって、より具体的に考える事ができ、様々な視点を養う事ができるからです。

将来は世界に羽ばたきグローバルな世界で活躍する人もいるでしょう、また、地元に戻りローカルな世界で活躍する人もいるでしょう。どのような立場で活躍するにしても、様々な立場や分野から、自然豊かで素晴らしい五島の活性化に貢献してもらいたいと思っています。できればGOTOグローバル（グローバルな視点を持ち、ローカルに活躍する）な世界で活躍してほしいと願っています。各ご家庭でもお子様の進路を考えると、このような話題も交えて考えていただければ幸いです。

決戦まであと100日！

11月9日（水）に准看護師資格試験100日前集会が開催され、学年主任の漣上先生をはじめ多くの激励の言葉をいただきました。古賀信行（さん1-7）・吉田萌華さん（2-7）からは受験に向けてのエールを、そして生徒代表の平田沙矢香さん・田口舞月さん（両名とも3-7）は、多くの感謝の気持ちと30人全員での合格を誓う言葉を述べました。漣上先生からの「命を預かるものとして満点の300点を目指すべきである」という言葉に胸に、当日は自己最高点を目指して頑張りたいです。



たすき

思いを一本の襷に込めて…

(陸上部)

11月2日（水）に雲仙市小浜町で県高校駅伝が開催されました。結果は目標の10位に届かず12位。序盤は良いレース運びで流れに乗ることが出来ましたが、後半思うように襷をつなげずドンドン後続との差が縮まり競り負けました。今回の大会で見つかった課題は、個々の力が発揮できなかったこと。レースでのプレッシャーに打ち勝つ精神力をこれからつけないといけないと感じました。2月の新人駅伝では、目標の5位を必ず達成します。応援どうぞよろしくお願い致します。

—結果—
男子総合

総合12位/45校中
(2時間30分56秒)

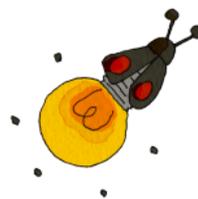
どうして？「光を化学する」授業

11月2日（月）、2年4・5組を対象に長崎大学との高大連携事業として、化学分野のクラスラボが実施されました。

今年度も昨年度に引き続き、長崎大学大学院医歯薬総合研究科の石原淳先生に「光を化学する」というテーマで講義をしていただきました。発光生物が発光する仕組みを、ルミノール反応や発光ペンを用いた実験を交えながら、わかりやすく説明していただきました。中でも、乾燥させたウミホタルを発光させる実験では、その発光の美しさと死骸であっても発光することへの驚きに、生徒からは喚声があがっていました。

受講後の生徒からは、「蛍などがなぜ光るのかなど、普段不思議に思っていたことが解決し、スッキリした。」「もっと身の回りの化学について、疑問や興味をもっていくたい」「興味から始まった研究が、医療などの世界で応用されて社会に貢献していることが分かった」などの感想を聞くことができました。どの生徒も、充実した時間を過ごしたようでした。

理科の高大連携事業は、12月にも物理・生物分野で計画されています。



平成28年度長崎県高等学校総合文化祭【美術部門】結果

「**絵画部門**」 優秀賞 2年 下村 悠太
(平成29年度全国大会【宮城県】に出品)

1年 谷川 愛果

石田 聖紫

優良賞 1年 神村 明莉

「**デザイン部門**」 優良賞 2年 下村 悠太

自信ってどうしたら持てるの？

11月8日(火)の7校時に本校スクールカウンセラーの山野有希先生によるスクールカウンセラー講演会を実施しました。演題は「もし〇〇がなくなったら」で、この〇〇の中には「自信」が入るという内容でした。山野先生は本校勤務3年目で五島にもすっかり慣れ頼もしい存在です。何か困ったことがあれば悩みが大きくなる前に相談してください。

本校写真部 県写真展に出品

(写真部)

私達写真部は、一人一人の価値観を大切にしながら、作品に触れた方々の心を動かすような写真が撮れるよう、日々の活動を行ってきました。現在、県総文祭写真展に応募した7作品が予選を通過し、本選の準備をしているところです。これからもそれぞれの感性を磨きつつ、人を感動させるような写真を撮っていきたいと思います。



『朝霞』



『かすみ』



『みなぎる』

わがふるさと五島を見つめ直す

11月1日(火)に長崎大学地域教育連携・支援センター副センター長の江頭明文教授を迎え、心に響く人生の達人セミナーを開催しました。講演の演題は、「『ふるさと』を想う～五島市どうなる？五島市どうしたい？～」で、「五島が育ててくれた『君らしさ』を礎に、豊かに生きていってほしい」と熱く語っていただきました。バラモンプランを通して五島について学んでいますが、ふるさとについて再度考え直す良い機会になりました。



生まれ育った郷土を愛し、自立心を持った子どもたちの育成を目指して

11月23日(水)、本校メモリアルホールにおいて、五島地区高等学校・特別支援学校PTA研修会が実施されました。はじめに、各校の前会長様に感謝状と記念品の贈呈を行い、長崎県企画振興部より『若年者の定着に向けた取組』について説明がありました。次に、長崎カウンセリング研究所所長で臨床心理士の浅香佐輝子先生より「今どきの高校生の心って???…保護者の方にしておいて頂きたいこと」という演題で御講演いただきました。五島南高校 坂本勝昭PTA会長様からは、『進路指導とPTAの関わり～五島を愛する子供～』という題で、五島地区の高校・特別支援学校の取り組みや五島南高のアンケート結果を踏まえ、意見発表をしていただきました。最後に長崎県教育庁生涯学習課井上潤一郎課長補佐より講評をいただき、会を締めくくりました。すべての内容が素晴らしく、有意義な研修になったと思います。本校からも朝早くから、総務委員会、調査広報委員会の方々を中心に、受付、案内係としてご協力いただき、本当にありがとうございました。来年は上五島会場で開催されます。引き続き有意義な研修会になるようご協力をよろしくお願いいたします。

<参加者の声>

- 子どもの成長に家族関係が大切だと思った。学校よりも人生で大切な内容を知りたい。
- 講演者の話は興味深かった。親が立ち止まって話し始めることが大切だと感じた。